

2016年熊本地震（調査速報写真）

- **地震発生**

2016年4月14日21:26 M6.5

益城町で最大震度7

2016年4月16日01:25 M7.3

益城町で最大震度7相当

- **現地調査**

2016年4月17日(日)～18日(月)

調査場所：熊本市、益城町、御船町、宇土市

静岡大学 防災総合センター

岩田孝仁

熊本市内のRC造マンションの被害



ピロティ形式の7階建てRC造マンション
1階部分の柱が座屈(熊本市西区出町1丁目 第2京町台ハイツ)
道路を挟んで建つ第1ハイツは1階柱に若干のヘアークラックのみ
直ぐ横の寺の楼門には目立った被害なし

熊本市内のRC造マンションの被害



座屈した1階柱



全壊家屋と被害軽微な建物が混在する 益城町中心部



益城町宮園

全壊家屋の横には無被害の建物も (益城町宮園)



ほぼ無被害の住宅(益城町宮園)



被害の大きい益城町中心部



重い瓦屋根、通りに面した開口部の広い古い木造住宅(益城町木山)

かろうじて倒壊は免れた商店



道路沿いの開口部の広い瓦屋根の店舗兼住宅(益城町木山)

道路をふさぐ倒壊住宅



倒壊した家屋が倒れ込み主要な道路が通行止めに(益城町木山)

盛り土地盤でも全壊家屋と無被害家屋が



比較的新しい建物は盛り土地盤でも地盤破壊が無ければ被害はない(益城町木山)

被害の大きな地区でも無被害の住宅が



(益城町木山)

無被害の住宅が並ぶ



(益城町木山)

益城町



多くの住宅が倒壊する中、耐震性があれば被害はあっても倒壊は免れる
(益城町寺追、川沿いの谷底低地の造成地)

益城町(ブロック塀の倒壊)



ブロック塀はいたるところで倒壊し道路に倒れ込む。幸い深夜の地震であったため通行人の被害はなかったが、これが昼間であれば大惨事に。

住宅地の中で倒壊したブロック塀が道路 をふさぐ(益城町宮園)



地盤の液状化で道路は波打ち電信柱は沈下、フェンス塀も倒壊



益城町惣領

道路に倒れるブロック塀



鉄筋は入っているが控え壁はなし。基礎部分の鉄筋は腐食が目立つ。(益城町惣領)

主要道路の路盤被害



橋梁手前の盛土部沈下(益城町寺追)

擁壁倒壊で道路の盛土部が崩壊 (益城町寺追)



熊本県庁災害対策本部



政府現地対策本部の要因が県庁災害対策本部の中枢に陣取るが、県との情報共有が十分でなく混乱も。

外側の柱・梁増設で耐震補強されていた 益城町庁舎



2度目の地震でも倒壊は免れたが、室内天井板などが落下(益城町宮園)

益城町庁舎の敷地全体が造成地 盤で沈下



盛土部の沈下での渡り廊下に段差亀裂が(益城町宮園)

4月16日の2度目の地震で転倒した電源車 (益城町役場)



14日の地震で停電し、非常電源不調のため電源車を手配
16日の2度目の地震で盛土擁壁が崩壊し電源車ごと転倒
このため町の災害対策本部は保健福祉センターに移動

役場駐車場で炊き出し準備中の自衛隊



益城町宮園

熊本県の上益城振興局の庁舎

耐震補強により建物
躯体には大きな被害
は見られない。
(御船町辺田見)



階段付近の付属壁に亀裂、
室内の天井板(石こうボード)が上層階で多く落下

宇土市役所の被害



築51年を経過した庁舎(1965年建設)。建て替えが進まず大きく損傷。仮設の災害対策本部は駐車場のテントに設置されるが災害応急活動に大きな支障が。

宇土市役所裏の駐車場に設置したテント 張りの災害対策本部

